

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年10月31日

計画の名称	6 未来へつなげる橋りょう長寿命化の推進（防災・安全）																
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）	交付対象	新潟県長岡市														
計画の目標	老朽化が進む既存橋りょうに対して、計画的な長寿命化対策を行い、道路ネットワークの信頼性を高めるとともに、雪や災害に強く安全・安心に暮らせる地域を形成する。																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡市橋りょう長寿命化計画に基づき、早期対策が必要な橋りょうにおける長寿命化対策の実施率を100%とする。 ・長岡市道路ストック総点検に基づき計画された、早期対策が必要な道路構造物補修について、対策の実施率を100%とする。 																
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">①</th> <th rowspan="2">(長寿命化対策実施率：%) = (長寿命化対策済橋梁数) / (長寿命化対策を要する橋梁数) × 100 ※長寿命化対策を要する橋梁とは長岡市長寿命化計画において、予防保全を含め早期に対策が必要と判断された16橋を対象とする。</th> <td>0.0%</td> <td>43.7%</td> <td>100.0%</td> <td rowspan="2">備考</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>(補修対策実施率：%) = (補修対策済道路構造物箇所数) / (補修対策を要する道路構造物箇所数) × 100 ※補修対策を要する道路構造物とは長岡市道路ストック総点検において、予防保全を含め早期に対策が必要と判断された1箇所を対象とする。</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>					①	(長寿命化対策実施率：%) = (長寿命化対策済橋梁数) / (長寿命化対策を要する橋梁数) × 100 ※長寿命化対策を要する橋梁とは長岡市長寿命化計画において、予防保全を含め早期に対策が必要と判断された16橋を対象とする。	0.0%	43.7%	100.0%	備考	②	(補修対策実施率：%) = (補修対策済道路構造物箇所数) / (補修対策を要する道路構造物箇所数) × 100 ※補修対策を要する道路構造物とは長岡市道路ストック総点検において、予防保全を含め早期に対策が必要と判断された1箇所を対象とする。	0.0%	0.0%	100.0%	
①	(長寿命化対策実施率：%) = (長寿命化対策済橋梁数) / (長寿命化対策を要する橋梁数) × 100 ※長寿命化対策を要する橋梁とは長岡市長寿命化計画において、予防保全を含め早期に対策が必要と判断された16橋を対象とする。	0.0%	43.7%	100.0%	備考												
		②	(補修対策実施率：%) = (補修対策済道路構造物箇所数) / (補修対策を要する道路構造物箇所数) × 100 ※補修対策を要する道路構造物とは長岡市道路ストック総点検において、予防保全を含め早期に対策が必要と判断された1箇所を対象とする。	0.0%		0.0%	100.0%										
全体事業費	合計 (A+B+C)	963 百万円	A	808 百万円	B	0 百万円	C	155 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	16.1%							
中間評価																	
○中間評価の実施体制、実施時期																	
中間評価の実施体制					中間評価の実施時期												
長岡市において評価を実施					平成27年度												
					公表の方法												
					長岡市ホームページ												
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 地方道路整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
6-A101	道路	一般	長岡市	直接	—	市町村道	修繕	(他)946号線（思案橋）ほか（長岡地域）	橋梁補修 N=8橋	長岡市						219	
6-A103	道路	一般	長岡市	直接	—	市町村道	修繕	(2)越路592号線（不動沢橋）ほか（越路地域）	橋梁補修 N=6橋	長岡市						96	
6-A105	道路	一般	長岡市	直接	—	市町村道	修繕	(他)川口197号線（滝の上跨道橋）ほか（川口地域）	橋梁補修 N=2橋	長岡市						21	
6-A106	道路	一般	長岡市	直接	—	市町村道	改築	(1)山古志2号線	老朽橋架け替え L=0.1km	長岡市						127	
6-A107	道路	一般	長岡市	直接	—	市町村道	修繕	(1)栃尾山田町原町線（原町高架橋）ほか（栃尾地域）	橋梁補修 N=2橋	長岡市						18	
6-A108	道路	一般	長岡市	直接	—	市町村道	修繕	(1)寺泊32号線（舞台橋）ほか（寺泊地域）	橋梁補修 N=3橋	長岡市						53	
6-A109	道路	一般	長岡市	直接	—	市町村道	修繕	(他)宮内360号線	橋梁補修 N=1橋	長岡市						14	
6-A110	道路	一般	長岡市	直接	—	市町村道	修繕	(1)東幹線82号線ほか（トンネル）	トンネル補修 N=1本	長岡市						57	
6-A111	道路	一般	長岡市	直接	—	市町村道	計画策定	橋梁長寿命化修繕計画策定	14.5m未満・14.5m以上	長岡市						96	
6-A112	道路	一般	長岡市	直接	—	市町村道	修繕	(1)栃尾山田町原町線（原町高架橋）ほか（栃尾地域）	橋梁補修 N=5橋	長岡市						102	
6-A113	道路	一般	長岡市	直接	—	市町村道	修繕	(1)小国3号線（三桶橋）ほか（小国地域）	橋梁補修 N=2橋	長岡市						5	
小計（道路事業）											808						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28			
																0	
合計											0						
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						

C 効果促進事業				直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H24	H25	H26	H27	H28		
										合計						
6-C101	道路	一般	長岡市	直接		計画策定	橋梁長寿命化修繕計画策定	14.5m未満	長岡市						155	
														155		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
6-C101	道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するための効率的・計画的な維持・補修を実施することを目的として、道路施設の維持管理計画を策定する。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・橋梁長寿命化修繕計画及びトンネル長寿命化計画を策定し、早期対策が必要な橋りょう・トンネルを効率的・計画的に修繕することにより、道路ネットワークの信頼性を高め、雪や災害に強い地域づくりを着実に進めることができた。														
--------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①（橋りょう長寿命化対策実施率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	計画的な修繕と経費削減により、1橋多く長寿命化対策を実施できたことによるもの
		最終実績値	106.3%		
	指標②（道路構造物補修実施率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100.0%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）															
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> 急速に進む道路構造物の老朽化に伴う修繕費用の増大に対し、いつ、どのような対策を講じることが最適であるかを評価し、計画的かつ効率的な管理・運用を行う仕組みをしっかりと構築していく。 橋りょうに精通した技術者を育成していく。 重要度に応じた管理水準や維持管理区分を精査し、適正な管理を実行しながら道路ネットワークの確保に努めていく。 															
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--